



2026 年度募集案内

人を大切にする経営大学院事業
「経営人財塾」9 期

中小企業人本経営（EMBA）プログラム



■開講にあたって■

企業経営の目的・使命は、関わる人々の幸せの追求・実現です。

業績や勝ち負けも大事なことです、それは、企業経営の目的ではなく、目的を実現するための手段もしくは結果なのです。

しかしながら、多くの企業では、手段や結果である業績や勝ち負けを、まるで目的にしたような経営が行われています。

手段や結果である業績を目的にすると、真の目的である「関係する人々の幸せの追求・実現」は、業績追及のための手段となってしまいます。

企業の業績向上のための、手段やコストと評価位置付けられた「感情のある人間社員」が、属する組織を信頼し、全身全霊で価値ある仕事をするはずがありません。

それどころか、属する組織や経営者に反感を抱き、そのモチベーションが低下するばかりか、心優しい真の人財社員は離職をしてしまうと思います。

過去・現在を問わず、消え去ってしまった企業、さらには、好不況や激変の度、一喜一憂する企業の大半は、目的である人を手段にし、逆に人の幸せのための手段である戦略を、目的にしたような経営を行っているからといっても過言ではありません。

一方、いかなる環境変化があっても「人、とりわけ社員第一主義経営」を、ぶれず実践している企業の業績はというと、常に高くなっています。それもそのはず、これら企業は、社員の組織満足度も高く、そのモチベーションも安定的に高いからです。もとより、社員の離職率も極めて低いのです。

つまり、近年の拡大する企業間格差の最大要因は、経営の「やり方」格差等ではなく、経営の「あり方」格差であるといっても過言ではありません。

「あり方」というのは「どんな時代でも正しい経営をする…」「どんな環境下にあっても世のため人のためになる経営をする…」「どんな時代であってもお天道様に顔向けのできる経営をする…」といったことです。

この「あり方」を間違えてしまうと、どんな立派なビジネスモデルや経営戦略を展開したとしても、さらには、どんな優秀な人財が、社内にはたとしても、短期はともかく、中長期的にみると、次第につじつまが合わなくなってくるのです。このことは、歴史が嫌というほど証明してくれています。

しかしながら、我が国のほとんどすべてのビジネススクール・経営大学院の教育や学びは、「やり方」である経営戦略の学びが大半で、企業経営の「あり方」の研究・学びが、ほとんどありません。加えて言えば、そこで取り上げられる大半の企業は、著名な国内外の大企業が中心です。

こうした状況を踏まえ「人を大切に経営学会」では、関係者の強い要望・意見を踏まえ、2018年度から経営の「あり方」と「中小企業経営」に特化した学会経営人財塾「中小企業人本経営（EMBA）プログラム1年コース」を開講しております。参加者は中小企業経営者・後継者・幹部社員、そして士業の方々と、全国各地から参加しています。

来年4月からの2026年度は第9期となります。是非、受講されますようご案内方お願い申し上げます。

一般社団法人人を大切にする経営学会
会長 坂本 光司



■中小企業人本経営（EMBA）プログラム （経営人財塾）の特長■

- （１）理論と実務の両面から中小企業経営のあり方・進め方を徹底的に学ぶことができます。
- （２）講師陣は、多くの企業のモデルである第一線の中小企業経営者や、その分野では著名な経営専門家、経営学者等、総勢 20 名です。
- （３）講義は、毎月 1 回、原則として第 2 金曜日の午後（13：00～17：10）と、翌土曜日の 9：30～17：00 です。
- （４）金曜日の講義 1（13：00～15：00）は、弁護士・公認会計士、大学教授等の経営専門家による「リレー中小企業経営論」、講義 2（15：10～17：10）は、有名な第一線の中小企業経営者による「リレー実践中小企業経営」として開催されます。理論と実務両面から「経営のあり方・進め方」を学べます。
- （５）金曜日の講義終了後は、有志で講師を囲んでの交流懇談会を開催します。
- （６）土曜日の講義は「中小企業経営事例研究&ゼミ」です。塾長と経営専門のコーディネーターから、中小企業経営の事例紹介、テキストによる講義、経営に関する統計の利活用の仕方などが講義されるほか、受講生からは、グループでの企業事例研究発表や課題発表等が行われます。
- （７）本プログラムを通じ、一年間に研究し学ぶ「いい会社」は、国内外を含め、600 社を優に超えます。また、訪問する企業は、少なくとも 20 社程度、多い学生は 30 社以上です（有志）。
- （８）8 月は講義に代え 1 泊 2 日または 2 泊 3 日の合宿を予定しています。全員で全国各地の優良中小企業 4 社～5 社（7 社～8 社）を訪問研究します。
- （９）土曜日の講義は演習形式で開催します。ゼミ長やコーディネーターが中心となり講義を進行します。
- （１０）年間 1 本～2 本程度、全員で企業経営に関するレポートまたは本をまとめます。
- （１１）3 月は一年間の学びの成果を「プロジェクト研究発表」として、担当した講師や他の受講生の前で発表をしていただきます。成績優秀者へは記念品が授与されます。
- （１２）本プログラム終了後は、OB・OG 会（1 期生～）において継続して学び、交流するチャンスが用意されています。

■本プログラム長■

本プログラム長は、人を大切にする経営学会の会長である坂本光司が務めます。毎回土曜日の講義も担当します。

■開講スケジュール・講師等「別紙」■

- （１）開講期間 2026 年 4 月から 2027 年 3 月
- （２）開講日時 原則として第 2 金曜日の午後 13：00～17：10（講義）と翌土曜日 9：30～17：00（演習と講義）の毎月 2 日間 「別添カリキュラム」 別紙参照

■教室■

日本教育会館内研修室 東京都千代田区一ツ橋 2 - 6 - 2

（講義内容によっては、年に数回、東京都内の別会場になる可能性があります）

■募集人員■

30 名程度



■出願資格■

以下の（１）～（４）のいずれかの要件を満たす者

- （１）人を大切にする経営を志向する経営者・後継者・経営幹部
 - （２）将来、起業を考えている人・留学生
 - （３）人を大切にする経営を中堅・中小企業や社会福祉法人等に導入・普及させたいと考えている専門家
（弁護士・司法書士・公認会計士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士・医師・保健師・福祉士等医療従事者・各種経営コンサルタント）
 - （４）その他、本プログラムの趣旨に賛同する人
- ※ 最終学歴は問いません

■年間受講料■

- （１）人を大切にする経営学会員は１名当たり 77 万円（税込）※学会員以外は１名当たり 88 万円（税込）
（夏の合宿経費、個人的な研究・視察経費、懇親会費等は含みません）
- （２）受験料や入学金は必要ありません
- （３）受講料は、面接試験結果を受領後、１カ月以内に別途連絡する指定の口座に振り込みください

■出願・選考日等■

- （１）入塾希望者は、指定日までに以下の URL にアクセスし、出願フォームより所定の項目を入力し、「履歴書」、「職務経歴書」（市販のもの）、「入塾願書」の３種類を添付し出願してください。
「入塾願書」は、A4 用紙１枚程度に、①入塾の動機・②特に学び研究したいテーマ等について記入してください。

<https://ws.formzu.net/dist/S69671298/> こちらからもお申込できます ⇒



- （２）選考方法

選考は提出書類と面接で行います

面接時間は 30 分程度です。面接の結果は、面接後 1 週間以内に連絡します

	選考日	出願期間
第 1 回	2025 年 10 月 25 日（土）	2025 年 10 月 1 日（水） ～ 10 月 22 日（水）
第 2 回	2025 年 12 月 6 日（土）	2025 年 11 月 10 日（月） ～ 12 月 3 日（水）
AO 試験	2025 年 10 月 1 日（水）～ 2026 年 3 月 6 日（金）	

※ 会場は原則学会本部（東京・神保町）で行います

※AO 入試を希望される場合は、日程等ご不明な点等ありましたら、下記宛てにご相談ください

■受講申し込み・問い合わせ先■

一般社団法人人を大切にする経営学会事務局

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2 階

電話番号：03-6261-4222 FAX 番号：03-6261-4223

メールアドレス：info@htk-gakkai.org

WEB ページ：<https://www.htk-gakkai.org/>